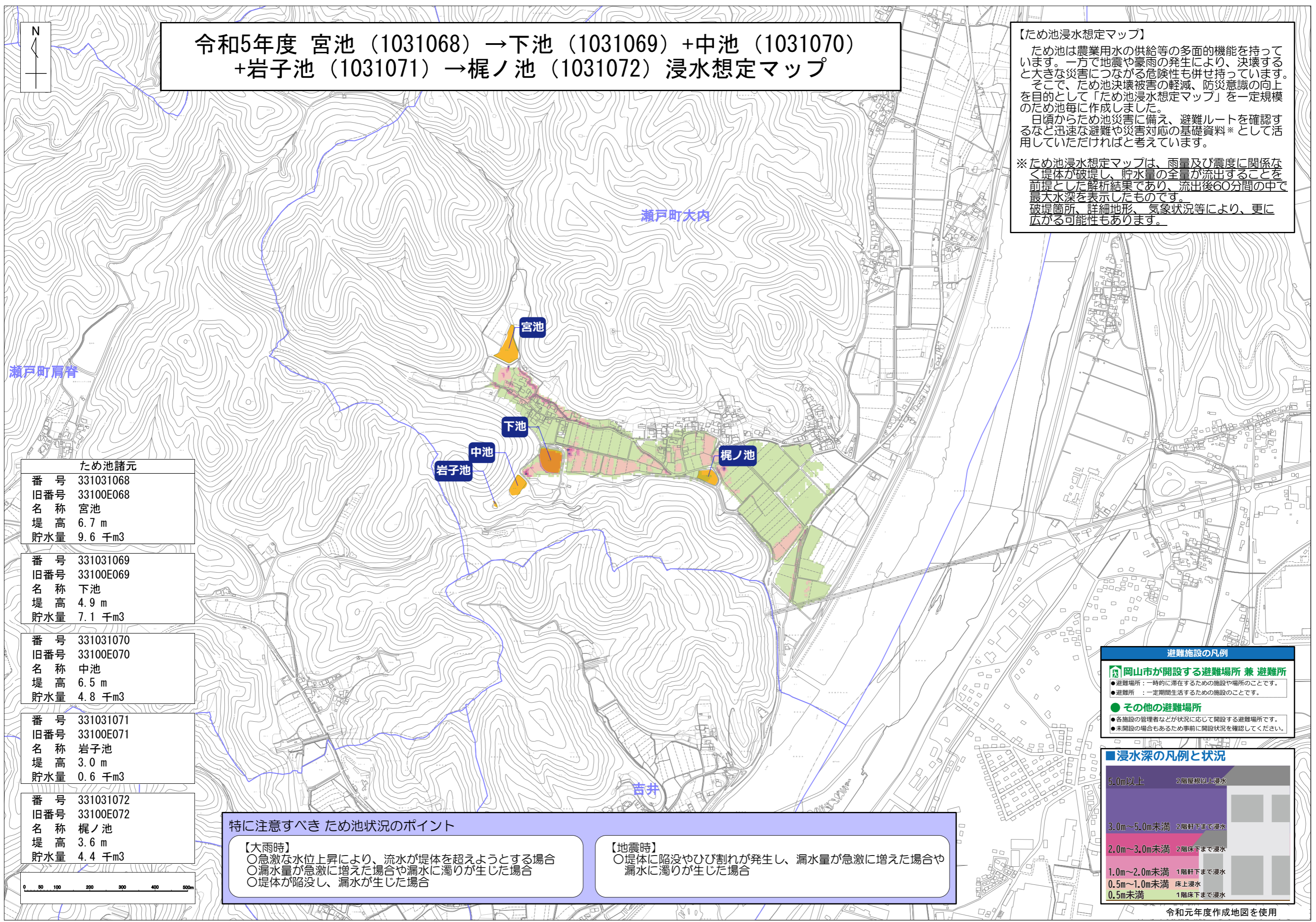


令和5年度 宮池 (1031068) →下池 (1031069) +中池 (1031070) +岩子池 (1031071) →梶ノ池 (1031072) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。
 日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。
 破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331031068
旧番号	33100E068
名称	宮池
堤高	6.7 m
貯水量	9.6 千m3

番号	331031069
旧番号	33100E069
名称	下池
堤高	4.9 m
貯水量	7.1 千m3

番号	331031070
旧番号	33100E070
名称	中池
堤高	6.5 m
貯水量	4.8 千m3

番号	331031071
旧番号	33100E071
名称	岩子池
堤高	3.0 m
貯水量	0.6 千m3

番号	331031072
旧番号	33100E072
名称	梶ノ池
堤高	3.6 m
貯水量	4.4 千m3

特に注意すべき ため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例

- 岡山市が開設する避難場所兼 避難所
 - 避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。
 - 避難所：一定期間生活するための施設のことです。
- その他の避難場所
 - 各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。
 - 未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況

5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m～5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m～3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m～2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m～1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水